

台湾総領事が立神峡を視察 火打石を体験

藤本町長の案内で台湾総領事一行が、日本名勝の立神峡を視察しました。火の国橋にて出迎え、まずは立神峡について説明。火の国橋を渡り、その景観の素晴らしさに感動しながらたくさんの写真を撮影した後は、河原に移動し、火打石の見分け方を説明。見つけた火打石で体験して、臭いを嗅ぐなど火が出たことに大変驚いた様子でした。火の国熊本の由来など説明し、火打石セットをプレゼントしました。今後の台湾旅行者の増加に期待したいものです。



「道の駅」 竜北ウォーキング2023が開催 立神峡にもウォーカーが訪れる



午前9時に竜北公園憩いの広場から出発。今回新たに加わった立神峡周回コース12.5kmの多くの参加者は、自然景観溢れる吊り橋と岸壁の壮大さに魅了されながら、紅葉迫る立神峡を歩きました。また、管理棟前で写真やチラシを配布して立神峡を宣伝しました。

今年もALT英語教師がログハウスに集う

アメリカ・イギリス・カナダ・アイルランド・ニュージーランド・オーストラリアなど世界各国出身の県内ALT英語教師が集合。メンバーの誕生会がその目的で今年で3回目になります。毎年大盛況で顔なじみとなり、会話も弾みます。来年もまた来たいとのこと。世界中にSNSで発信してもらえるようお願いしました。



将来の医師を目指して勉強中



3人の学生が自転車で熊本市内から立神峡を目指してサイクリングして、ログに宿泊してくれました。学生に「今年年生？」と尋ねると5年生と答えたので、浪人でもしているのか思いましたが、なんと、医学部の学生とのことで2度ビックリ。将来の日本の医療を担う若者に期待と励ましを送りたいものです。

ログハウスに2組の家族が宿泊

ママ友の2組の家族が宿泊。聞けば双子で一卵性と二卵性の家族とのこと。少子化が叫ばれる中ですが、健康ですくすく育てて欲しいものです。



「氷川町第2期データヘルス計画 (H30~R5)」から見えるもの

データヘルス計画は、社会情勢の変化に合わせて、健診・医療・介護のデータを活用して策定します。町の効果的かつ効率的な保健事業の実施に向けた計画として「社会保障の安定」「健康寿命の延伸」を目指すもので、分析を通して、町の健康課題が見えてきます。



評価に対するご意見をお聞かせください

医療の状況を分析してみました

生活習慣病にかかる

1人あたりの国保医療費	
熊本県平均	33,050円
氷川町	31,143円

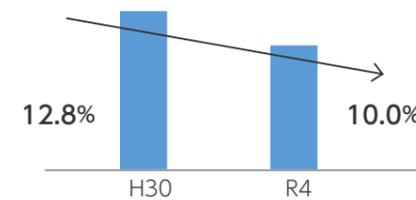
外来費用の病気別割合	
糖尿病	11.0%
高血圧	8.3%
腎不全	5.9%
脂質異常症	3.9%
虚血性心疾患	0.7%
脳梗塞・脳出血	0.5%

同規模市町村平均 10.1%
熊本県平均 9.6%
国平均 8.6%

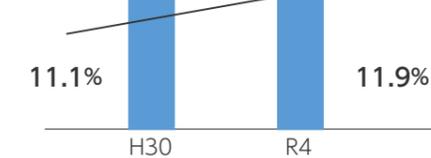
糖尿病で医療費を使っている割合は
全国同規模43市町村中 **3位** の高さ!

糖尿病に着目して見ていくと・・・

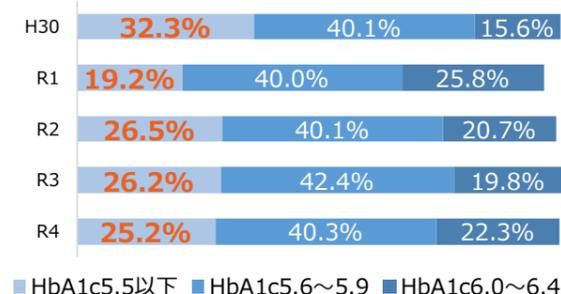
①糖尿病の治療が必要な値※1だったが未治療や治療を中断した人の割合



②レセプトデータでの糖尿病の合併症※2の割合



③HbA1c正常値と境界域の人の割合の変化



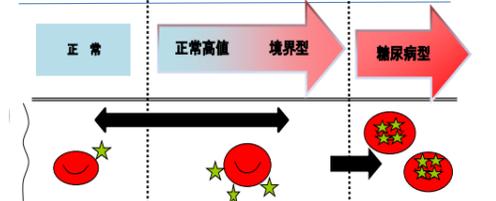
①、②のグラフから、未治療や治療を中断した人は減っている、つまりきちんと治療している人は増えているのに、糖尿病の合併症の人は増えていることがわかります。どうしてなのでしょう？

実は、**心臓などの血管の痛みは、糖尿病と診断される手前の「HbA1cが少し高い状態 (5.6以上)」から進んでいくんです。**③のグラフを見ると、HbA1cが5.5以下の正常値の人の割合が減っていることがわかります。正常値の人が減り、少し高い状態の人が増えていることがその要因として考えられるのです。

※1 健診でのHbA1cの値が7以上 ※2 虚血性疾患

HbA1cの正常域と境界域の目安

5.5以下 5.6~6.4 6.5以上



赤血球に糖がくっついて消費されると血糖値が下がる状態
高血糖が続くと糖が強くとっくと、血糖が下がっても結合したまま